

12/15「中川五郎をいま、聞く」vol.4 サエキけんぞう×中川五郎

闘争と喧騒の60年代から、時代は70年代へ。開場：18時半 開演：19時

1969年10月21日 国際反戦デー 中川さんは恋人と小さなホテルで・・・

この頃、早川義夫さんと急速に親しくなる

新譜ジャーナル、早川さん wrote「五郎ちゃんと原宿のフランセでデート、いちごのショートケーキとコーヒーを注文、京都あたりで古本屋をやろう・・・」

1970年1月13日 都市センターホール「第15回メッセージコンサート」

「10月21日の夜に」を初めて歌う。＜加藤登紀子が注目、「登紀子1968を語る」発表時＞

69年終わり「フォーク・リポート」（69年1月創刊、月刊）が村元武さんが編集するようになる（労音→音楽舎）、村元さんは71年に「プレイガイドジャーナル」を創刊、1994年「雲遊天下」

1970年4月19日「音と唄の騒乱祭」出演 歌うことを一旦やめる（音楽舎と距離を作った？）

1970年5月号「ライトミュージック」誌 早川義夫と対談「僕たちの音楽意識、フォークに終わりは無い」言葉から音へ、精神から肉体へ、この頃ロックを聴き始めたこととも連動

1970年夏 「ヤング・ジャパン国際親善旅行」40日間北米を回るコンサートツアー

北山修（司会）加藤和彦、ロック・キャンディーズ（谷村新司）ジローズ、シュリークス、加藤和彦ミカ夫妻の結婚式もこの間行われる。 中川五郎さんは行くはずだったが欠席

70年代初頭の青春群像、シンガー達の軌跡から60→70年代の若者変化の深層を考えてみよう

1,早川義夫＜1970年歌を止める1994年復活＞1969年「かっこいいことはなんてかっこ悪いんだろう」

2,谷村新司＜ポップスだったが歌謡曲へ＞1968年ロックキャンディーズ「春は静かに通り過ぎてゆく」

3,PANTA 頭脳警察＜過激な政治性からソロへ＞1972年「いとこの結婚式」

1970年秋 村元さん、早川義夫と「フォークリポート」を季刊へ

季刊第一号（70年冬号）「高石ともやと岡林信康を裸にする」「性と文化の革命」

「二人のラブ・ジュース」（400字40枚）を書く

1971年 2月「フォークリポート」がワイセツ文書として摘発

ディラ（喫茶）1969年石井洋子が、大阪の難波元町に喫茶店を開き、大塚まさじはそのマスターとなった。

ロックバンド「ヴァギナファック」を結成

「Me & My Bobbie Mcgee」きっかけとなる

1, 早川義夫、ジャックス

1965年、メジャーデビュー前のザ・スパイダースを見て、刺激を受ける。

1967年にメンバーが交替し、早川義夫、木田高介、水橋春夫、谷野ひとしの4人編成となる。

1967年夏、ヤマハコンテストに出場、松本隆が見てショックを受ける

1968年 東芝と契約、デビュー・アルバム「ジャックスの世界」。

ジャックス解散後、URC レコードのディレクター（岡林信康、初期はっぴいえんど、加川良など）の傍ら、ソロ・アルバム『カッコいいことはなんてカッコ悪いんだろう』を発表する。このアルバムにも収められている「サルビアの花」は後に多くのミュージシャンによってカバーされ、スタンダード・ナンバーとなる。

次第に音楽の仕事から離れ、1972年には川崎市内に早川書店を開店。1982年には『ぼくは本屋のおやじさん』を出版しているが、1994年に『この世で一番キレイなもの』で復帰（SONY）するまでの23年間にわたって音楽活動を休止していた。

2, 谷村新司、アリス

高校在学中に同級生の山本峰幸と、友人のガールフレンドの妹で声楽をやっていた3歳年下の島津ちづ子の3人でバンド「ロック・キャンディーズ」を結成する。1967年4月に桃山学院大学に入学し、ゴルフ部に入るが、ロック・キャンディーズの活動が忙しくなってきたことなどからゴルフは1年で辞める。ロック・キャンディーズは大阪と神戸で絶大な人気を誇り、神戸のアマチュア・バンド・サークル「ポート・ジュビリー」の看板グループとなった。1968年9月、シングル「どこかに幸せが」で東芝レコードよりデビュー。

1970年、大阪万博の会場で、後にアリスの所属事務所「ヤングジャパン」社長となる細川健と知り合う。細川の音頭取りで実行したアメリカ・コンサート・ツアーで「ロック・キャンディーズ」や「ザ・フォーク・クルセダーズ」らと共に参加していたソウル・バンド「ブラウン・ライス」のドラマー矢沢透と知り合い意気投合。このアメリカ・ツアー中にレッド・ツェッペリンのステージを観る機会があり、ジミー・ペイジの独特のギター・プレイに圧倒されたという。同じく訪米中にジャニス・ジョプリンのライブを観る機会にも恵まれる。帰国した谷村は、アマチュア・ロック・バンド「フーリッシュ・ブラザーズ・フット」のボーカル堀内孝雄をアリスに勧誘。アリス結成 1971年12月25日、谷村、堀内の2名で「アリス」結成。桑名正博の実家の蔵で練習を重ねる。

3, PANTA、頭脳警察

1960年代には、短期間グループサウンズの「モージョ」に参加したことがある。関東学院大在学中の1972年に頭脳警察を結成してデビュー。バンド名は、フランク・ザッパが率いるザ・マザーズ・オブ・インヴェンションのファースト・アルバム「フリーク・アウト!」(1966年)の収録曲「フー・アー・ザ・ブレイン・ポリス?」から取ったものである。ステージ上で自慰行為をするなどの過激なパフォーマンスを展開。ジャケットに3億円強奪事件の容疑者の手配写真を使用したりもした。

1971年 - 三里塚闘争が行われていた成田市三里塚で開催された日本幻野祭に出演する。

1975年に頭脳警察を解散後、ソロ活動を経て、1977年にPANTA&HAL結成

1990年 - 1年間だけ再結成

2001年 再々結成。